

有限会社吉澤物産

Pick Up!

平成26年度

事業計画名

省力設備導入による作業負担軽減と生産性向上で売上増加・利益向上の実現

概要

現在の製造工程を自動化して包装工程へ増員し、計量作業実施を行う。

これにより厳格な内容量に近づけて出荷し、売上増加につなげる。さらに、労働者の作業負担軽減で雇用改善及び定年対象者の長期雇用を目指す。

分類

- <対象類型> ものづくり技術
機械制御
<事業類型> 設備投資のみ

成果

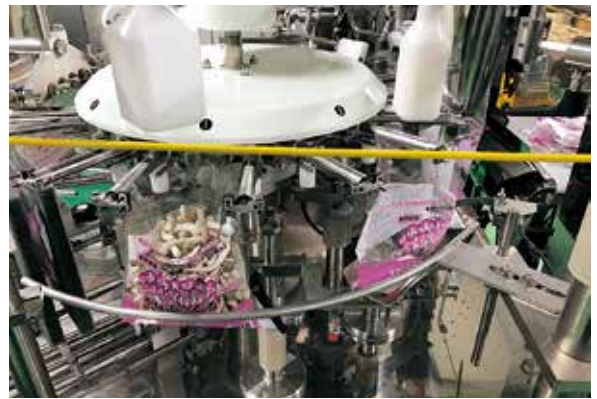
重労働作業を自動化にして、労働者の作業負担軽減と小人化（包装作業へ配置転換）を行い、包装工程での計量作業（従来は省略）を実施して、厳格な内容量に近づけることで製品化率110%（前年同期比27年12月～28年6月）を実現した。



収穫済み搬送ライン（別棟次工程への搬送コンベア）



バナシメジ収穫と包装ライン



バナシメジカットバラの袋詰包装機

平成25年度

事業計画名

電気料金削減で生産拡大と品質向上に努め、売上増と雇用者の収入増を目指す

概要

現在、安定雇用するには、生産コストを抑え生産拡大が必要であり、電気料金削減が課題となっている。

そこで、これらの課題を解決するために、熱交換器システム導入で、安定雇用と競争力向上を目指す。

平成27年度

事業計画名

市場ニーズに合わせた業界初の革新的なマルチフレキシブル生産体制の確立

概要

市場ニーズに合わせ、リアルタイムに複数の生産・数量を自由自在に応える高度なマルチフレキシブル生産体制の構築と自動化ライン導入により、他社がマネの出来ない業界初の高度な生産とプロセスイノベーションを目指す。

好機逸すべからず

「ものづくり補助金」採択企業を訪ねて

有限会社吉澤物産（千曲市）

キノコと人にやさしい環境づくりで、作業負担軽減と生産効率アップを実現。

ブナシメジで業界有数の売上高

松代は知る人ぞ知る「えのき茸発祥の地」。近隣の千曲市で吉澤物産は昭和35年にいち早くキノコづくりに着手しました。昭和38年には本格的なエノキダケ栽培



吉澤物産のブナシメジ商品

の会社として創業し、昭和年代はずっとエノキダケを栽培。平成元年からブナシメジ栽培に参入し、平成3年からはブナシメジだけを栽培するようになりました。エノキダケからブナシメジへと生産体制を大きく転換したのです。その理由のひとつはエノキダケが全国で量産されるようになり、価格競争が激しくなったこと。もうひとつの理由は、労働環境の面で、ブナシメジのほうが「人にやさしい」から。

「エノキダケの栽培では生育に必要な温度が4度から5度。かたやブナシメジは15度くらいですから、夏は涼しく冬は暖かい環境。働く人間にとっても働きやすい環境です」と吉澤恒好会長は話します。このような「人を大切にする」基本方針とその後の経営努力によって、いまやその生産量は年間1千トン以上。売上も3億5千万円を越えており、キノコ業界有数の企業として知られるようになりました。

しかも、これだけの売上規模でありながら社員数は25名。長く勤めている女性の社員が多く、平均年齢の高齢化も進む中、作業負担の軽減と生産性向上の両立が大きな課題となっていました。

省力化で人材を有効活用

今回、同社が平成26年度ものづくり補助金を活用したのは、キノコ工場における複数の省力化設備の導入でした。

同社の生産現場には、約10キログラムの栽培コンテナを積上げたり下ろしたり、といった体力の必要な作業シーンがあります。それが高齢者や女性の社員にとって少なからぬ負担となり、安定雇

用を阻害する要因でもありました。そこで、今回、数



省力化を実現したダンボール積み上げ機

種類の省力化機械をオーダーメイドで開発し、作業プロセスに投入。これによって、2人の人員が必要な作業でも1人でこなせるようになる等、省力化と効率化を大きく実現することができました。

「人が荷物を持たなくても機械が運んでくれる。導入前とあとでは、全然、体力の負担が違います」と補助事業の責任者でもある氷熊雅通副工場長は胸を張ります。さらに「この省力化による余剰人員を生産から包装工程に配置転換することで、厳密な計量実施が可能になり、これまでの製品ロスが大幅に減少しました」。これも当初の省力化計画の目標に掲げた通りです。

また、ものづくり補助金を受けたということで、キノコ業界で注目を集め、見学に訪れる方も増えたそうです。

「キノコ業界にはまだまだ改善の余地があります。当社は、小さいながらも最先端でありたいですね。大手には負けない手づくりのアイデアで勝負できればと思います。それと自社ブランドの確立も将来的に大きな課題です」と氷熊副工場長。同社は、競争力のさらなる向上を目指しています。



コンテナに入ったブナシメジ



有限会社吉澤物産

代表 代表取締役会長 吉澤恒好

創業 1963（昭和38）年

資本金 500万円

従業員数 28名

本社 千曲市大字土口510

TEL.026-272-0347 FAX.026-274-5107

事業内容 ブナシメジ培養・栽培・販売

